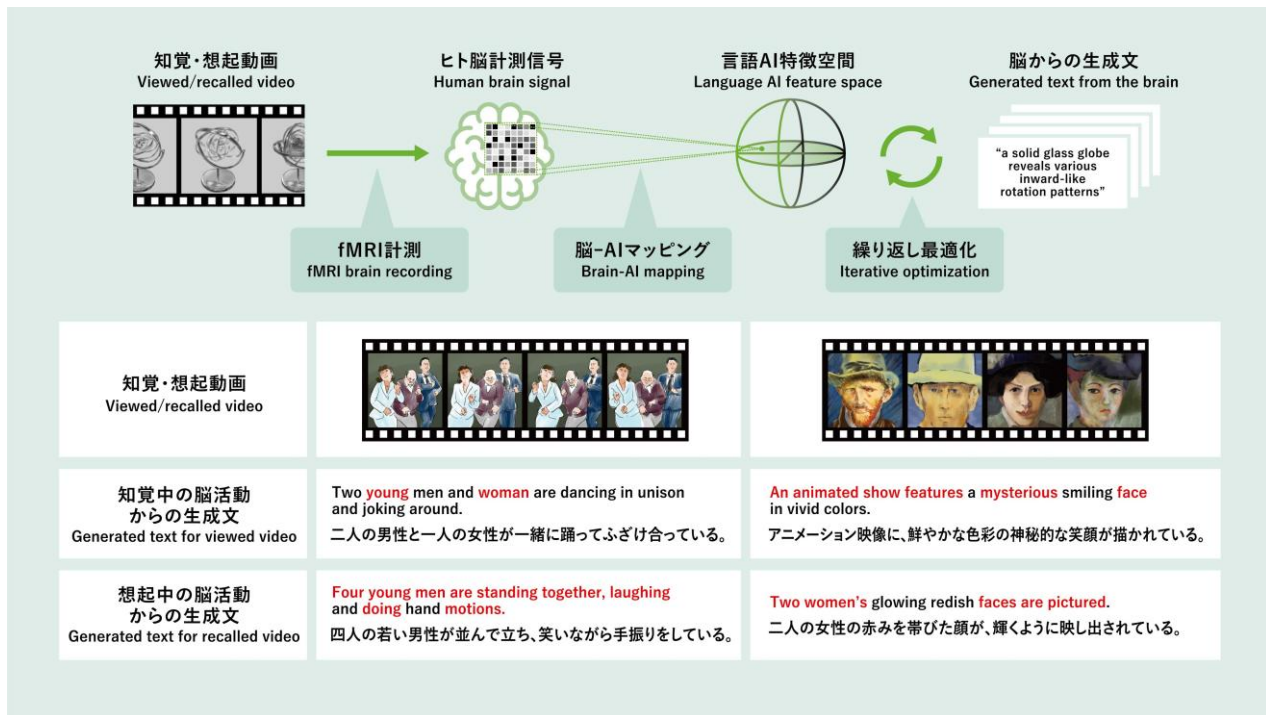


脳活動から心に思い浮かべた視覚内容を推定します 脳とAIの融合によるマインドリーディング

背景 – 技術課題

近年、脳活動から言語的情報を音声やテキストとして解読する技術が大きく進展しています。しかし、視覚イメージなどの非言語的な思考内容を文章として解読することは依然として困難です。もし非言語的思考に関わる脳内情報を言葉に変換できるようになれば、心の状態をより柔軟かつ多面的に解釈する道が拓かれます。



研究目標 – 成果

視覚内容の複雑かつ構造化された意味に関する脳内表現を解明する手がかりを提供するとともに、将来的には、発話困難者の意思伝達支援などに貢献することが期待されます。

技術ポイント

01 要素技術

脳情報解読技術とAIを組み合わせるアプローチに言語AIモデルを活用し、知覚・想像した視覚内容に関するテキスト記述をヒト脳活動から生成する技術

02 市中技術差異点

言語AIモデルの高い表現力と生成力を活用し、脳内の意味情報と整合性の高いテキストの生成を可能にしました。これにより、見た映像の内容だけでなく想起した映像の内容を記述するテキストの生成にも成功しました。

利用シーン ヘルスケア

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY30以降

【出展企業】
NTT株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所

【共同出展社/社外連携先】
—

【Contact】
人間情報研究部

【関連Link】
—